

温泉分析書

(鉱泉分析試験法による分析)

1. 申請者 住所 長野県上高井郡高山村大字奥山田 3681-377
氏名 松川溪谷温泉 滝の湯
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 信州高山温泉 第一源泉
湧出地 長野県上高井郡高山村大字奥山田 3681-377
採水地 同上
3. 湧出地における調査及び試験成績
(1) 調査及び試験者 一般社団法人 長野市薬剤師会 検査センター 検査部長 北村 晋
(2) 調査及び試験年月日 令和3年5月24日
(3) 泉温 60.5 °C (調査時における気温 18 °C)
(4) 湧出量 40 L/分 (掘削動力)
(5) 知覚的試験 ほとんど無色澄明、微硫黄味、微硫化水素臭を有する
(6) 水素イオン濃度 pH 7.9
(7) ラドン(Rn) 未測定
4. 試験室における試験成績
(1) 試験者 一般社団法人 長野市薬剤師会 検査センター 検査主任 荒井 真琴
(2) 分析終了年月日 令和3年5月31日
(3) 知覚的試験 ほとんど無色澄明、微硫黄味、微硫化水素臭を有する(試料採水6時間後)
(4) 密度 1.0008 (20°Cにおいて) 0.9990 (20°C/4°C)
(5) 水素イオン濃度 pH 8.00
(6) 蒸発残留物 1.015 g/kg (乾燥温度 180 °C)

5. 本水1キログラム中に含有する成分、分量及び組成

(1) 陽イオン成分		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(2) 陰イオン成分		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
水素イオン	H ⁺	—	—	—	ふっ化物イオン	F ⁻	1.1	0.06	0.45
リチウムイオン	Li ⁺	0.1	0.01	0.11	塩化物イオン	Cl ⁻	94.5	2.67	20.71
ナトリウムイオン	Na ⁺	111.1	4.83	36.46	臭化物イオン	Br ⁻	0.3	0.004	0.03
カリウムイオン	K ⁺	10.0	0.26	1.93	よう化物イオン	I ⁻	—	—	—
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	—	—	—	亜硝酸イオン	NO ₂ ⁻	—	—	—
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	2.7	0.22	1.68	硝酸イオン	NO ₃ ⁻	0.1	0.002	0.01
カルシウムイオン	Ca ²⁺	158.3	7.90	59.58	水酸イオン	OH ⁻	—	—	—
ストロンチウムイオン	Sr ²⁺	0.8	0.02	0.14	硫化水素イオン	HS ⁻	0.2	0.006	0.05
バリウムイオン	Ba ²⁺	—	—	—	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	3.8	0.07	0.53
アルミニウムイオン	Al ³⁺	—	—	—	硫酸水素イオン	HSO ₄ ⁻	—	—	—
マンガンイオン	Mn ²⁺	0.3	0.01	0.08	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	401.1	8.35	64.86
鉄(Ⅱ)イオン	Fe ²⁺	0.1	0.004	0.03	りん酸水素イオン	HPO ₄ ²⁻	—	—	—
鉄(Ⅲ)イオン	Fe ³⁺	—	—	—	メタ亜ひ酸イオン	AsO ₂ ⁻	—	—	—
銅イオン	Cu ²⁺	—	—	—	炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	105.0	1.72	13.37
亜鉛イオン	Zn ²⁺	—	—	—	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	—	—	—
					メタけい酸イオン	HSiO ₃ ⁻	—	—	—
					メタほう酸イオン	BO ₂ ⁻	—	—	—
陽イオン 計		283.4	13.26	100	陰イオン 計		606.1	12.87	100

(3) 非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
メタけい酸	H ₂ SiO ₃	142.4	1.82
メタほう酸	HBO ₂	65.1	1.48
メタ亜ひ酸	HAsO ₂	0.7	0.006
りん酸	H ₃ PO ₄	—	—
硫酸	H ₂ SO ₄	—	—
非解離成分 計	208.2	3.32	

溶存物質(ガス性のものを除く)

1.098 g/kg

(4) 溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
遊離二酸化炭素 (遊離炭酸)	CO ₂	1.9	0.04
遊離硫化水素	H ₂ S	痕跡	—
溶存ガス成分 計	1.9	0.04	

成分総計

1.100 g/kg

(5) その他の微量成分

総水銀 (Hg)	不検出	(0.0005 mg/kg 未満)
鉛 (Pb)	不検出	(0.01 mg/kg 未満)
カドミウム (Cd)	不検出	(0.005 mg/kg 未満)
総クロム (Cr)	不検出	(0.02 mg/kg 未満)

6. 泉質 : 含硫黄一カルシウム・ナトリウム一硫酸塩・塩化物温泉 (低張性 弱アルカリ性 高温泉)

7. 禁忌症、適応症等は別表による

令和3年6月1日

長野県長野市アークス13番11号
一般社団法人 長野市薬剤師会 会長 原 澄
(分析機関登録番号 長野県第8号)



温泉分析書

(鉱泉分析試験法による分析)

1. 申請者 住所 長野県上高井郡高山村大字奥山田 3681-377
氏名 松川溪谷温泉 滝の湯
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 信州高山温泉 第二源泉
湧出地 長野県上高井郡高山村大字奥山田 3681-378
採水地 同上
3. 湧出地における調査及び試験成績
(1) 調査及び試験者 一般社団法人 長野市薬剤師会 検査センター 検査部長 北村 晋
(2) 調査及び試験年月日 令和3年5月24日
(3) 泉温 51.7 °C (調査時における気温 18 °C)
(4) 湧出量 160 L/分 (掘削動力)
(5) 知覚的試験 ほとんど無色澄明、微硫黄味、微硫化水素臭を有する。
(6) 水素イオン濃度 pH 7.3
(7) ラドン(Rn) 未測定
4. 試験室における試験成績
(1) 試験者 一般社団法人 長野市薬剤師会 検査センター 検査主任 荒井 眞琴
(2) 分析終了年月日 令和3年5月31日
(3) 知覚的試験 ほとんど無色澄明、微硫黄味、微硫化水素臭を有する。(試料採水6時間後)
(4) 密度 1.0006 (20°Cにおいて) 0.9989 (20°C/4°C)
(5) 水素イオン濃度 pH 7.40
(6) 蒸発残留物 0.735 g/kg (乾燥温度 110 °C)

5. 本水1キログラム中に含有する成分、分量及び組成

(1) 陽イオン成分				(2) 陰イオン成分					
		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)		ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	
水素イオン	H ⁺	—	—	—	ふっ化物イオン	F ⁻	0.7	0.04	0.38
リチウムイオン	Li ⁺	—	—	—	塩化物イオン	Cl ⁻	82.4	2.32	24.17
ナトリウムイオン	Na ⁺	85.8	3.73	37.56	臭化物イオン	Br ⁻	0.2	0.003	0.03
カリウムイオン	K ⁺	7.3	0.19	1.88	よう化物イオン	I ⁻	—	—	—
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	—	—	—	亜硝酸イオン	NO ₂ ⁻	—	—	—
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	2.5	0.21	2.07	硝酸イオン	NO ₃ ⁻	—	—	—
カルシウムイオン	Ca ²⁺	116.0	5.79	58.27	水酸イオン	OH ⁻	—	—	—
ストロンチウムイオン	Sr ²⁺	0.6	0.01	0.14	硫化水素イオン	HS ⁻	0.5	0.02	0.16
バリウムイオン	Ba ²⁺	—	—	—	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	2.2	0.04	0.41
アルミニウムイオン	Al ³⁺	—	—	—	硫酸水素イオン	HSO ₄ ⁻	—	—	—
マンガンイオン	Mn ²⁺	0.2	0.007	0.07	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	287.0	5.98	62.13
鉄(II)イオン	Fe ²⁺	—	—	—	りん酸水素イオン	HPO ₄ ²⁻	—	—	—
鉄(III)イオン	Fe ³⁺	—	—	—	メタ亜ひ酸イオン	AsO ₂ ⁻	—	—	—
銅イオン	Cu ²⁺	—	—	—	炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	74.7	1.22	12.73
亜鉛イオン	Zn ²⁺	—	—	—	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	—	—	—
					メタけい酸イオン	HSiO ₃ ⁻	—	—	—
					メタほう酸イオン	BO ₂ ⁻	—	—	—
陽イオン 計		212.4	9.94	100	陰イオン 計		447.7	9.62	100

(3) 非解離成分

成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタけい酸	H ₂ SiO ₃	107.5	1.38
メタほう酸	HBO ₂	51.9	1.18
メタ亜ひ酸	HAsO ₂	0.8	0.007
りん酸	H ₃ PO ₄	—	—
硫酸	H ₂ SO ₄	—	—
非解離成分 計		160.2	2.57

溶存物質(ガス性のものを除く)

0.820 g/kg

(4) 溶存ガス成分

成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (遊離炭酸)	CO ₂	3.5	0.08
遊離硫化水素	H ₂ S	0.3	0.009
溶存ガス成分 計		3.8	0.09

成分総計

0.824 g/kg

(5) その他の微量成分

総水銀 (Hg)	不検出	(0.0005 mg/kg 未満)
鉛 (Pb)	不検出	(0.01 mg/kg 未満)
カドミウム (Cd)	不検出	(0.005 mg/kg 未満)
総クロム (Cr)	不検出	(0.02 mg/kg 未満)

6. 泉質：単純硫黄温泉（低張性 中性 高温泉）

7. 禁忌症、適応症等は別表による

令和3年6月1日

長野県長野市アークス13番11号
一般社団法人 長野市薬剤師会 会長 原
(分析機関登録番号 長野県第8号)



温泉の成分・禁忌症・適応症等

成分等

1	源泉名	信州高山温泉第一源泉及び第二源泉の混合 (湧出地 第一源泉高山村奥山田3681-377及び第二源泉同3681-378)
2	温泉の泉質	(第一源泉) 含硫黄一カシウム・ナトリウム一硫酸塩・塩化物温泉 (第二源泉) 単純硫黄温泉
3	温泉の温度	源泉 第一源泉 60.5℃ 及び第二源泉 51.7℃ 使用位置 44℃
4	温泉の成分	(温泉分析書のとおり)
5	温泉分析年月日	令和3年5月31日
6	登録分析機関の 名称及び登録番号	社団法人 長野市薬剤師会 長野県第8号
7	加水の理由	—
8	加温の理由	—
9	循環の理由	—
10	入浴剤の名称又は 消毒方法及びその理由	—

禁忌症・適応症及び入浴、飲用上の注意

- 1 禁忌症（浴用） 一般的禁忌症(浴用)

病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くとき息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期、

この泉質の禁忌症（浴用）

皮膚又は粘膜の過敏な人、高齢者の皮膚乾燥症
- 2 適応症（浴用） 一般的適応症（浴用）

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

この泉質の適応症（浴用）

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態
- 3 入浴の方法及び注意 (別紙のとおり)
- 4 禁忌症・適応症決定年月日 令和5年2月3日
- 5 決定者

長野県長野保健所長





温泉の成分・禁忌症・適応症等

成分等

- | | | |
|----|------------------------|------------------------------------|
| 1 | 源泉名 | 信州高山温泉第二源泉
(湧出地 高山村奥山田3681-378) |
| 2 | 温泉の泉質 | 単純硫黄温泉 |
| 3 | 温泉の温度 | 源泉 51.7℃
使用位置 43℃ |
| 4 | 温泉の成分 | (温泉分析書のとおり) |
| 5 | 温泉分析年月日 | 令和3年5月31日 |
| 6 | 登録分析機関の
名称及び登録番号 | 社団法人 長野市薬剤師会
長野県第8号 |
| 7 | 加水の理由 | — |
| 8 | 加温の理由 | — |
| 9 | 循環の理由 | — |
| 10 | 入浴剤の名称又は
消毒方法及びその理由 | — |

禁忌症・適応症及び入浴、飲用上の注意

- 1 禁忌症（浴用） 一般的禁忌症(浴用)
病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期、
この泉質の禁忌症（浴用）
皮膚又は粘膜の過敏な人、高齢者の皮膚乾燥症
- 2 適応症（浴用） 一般的適応症（浴用）
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進
この泉質の適応症（浴用）
自律神経不安定症、不眠症、うつ状態、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症
- 3 入浴の方法及び注意 （別紙のとおり）
- 4 禁忌症・適応症決定年月日 令和5年2月3日
- 5 決定者

長野県長野保健所長



《入浴上の注意》

ア 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ 入浴方法

- (ア) 入浴温度
高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態
心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
- (ウ) 入浴回数
入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。
- (エ) 入浴時間
入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。

ウ 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫黄泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。）。
- (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。